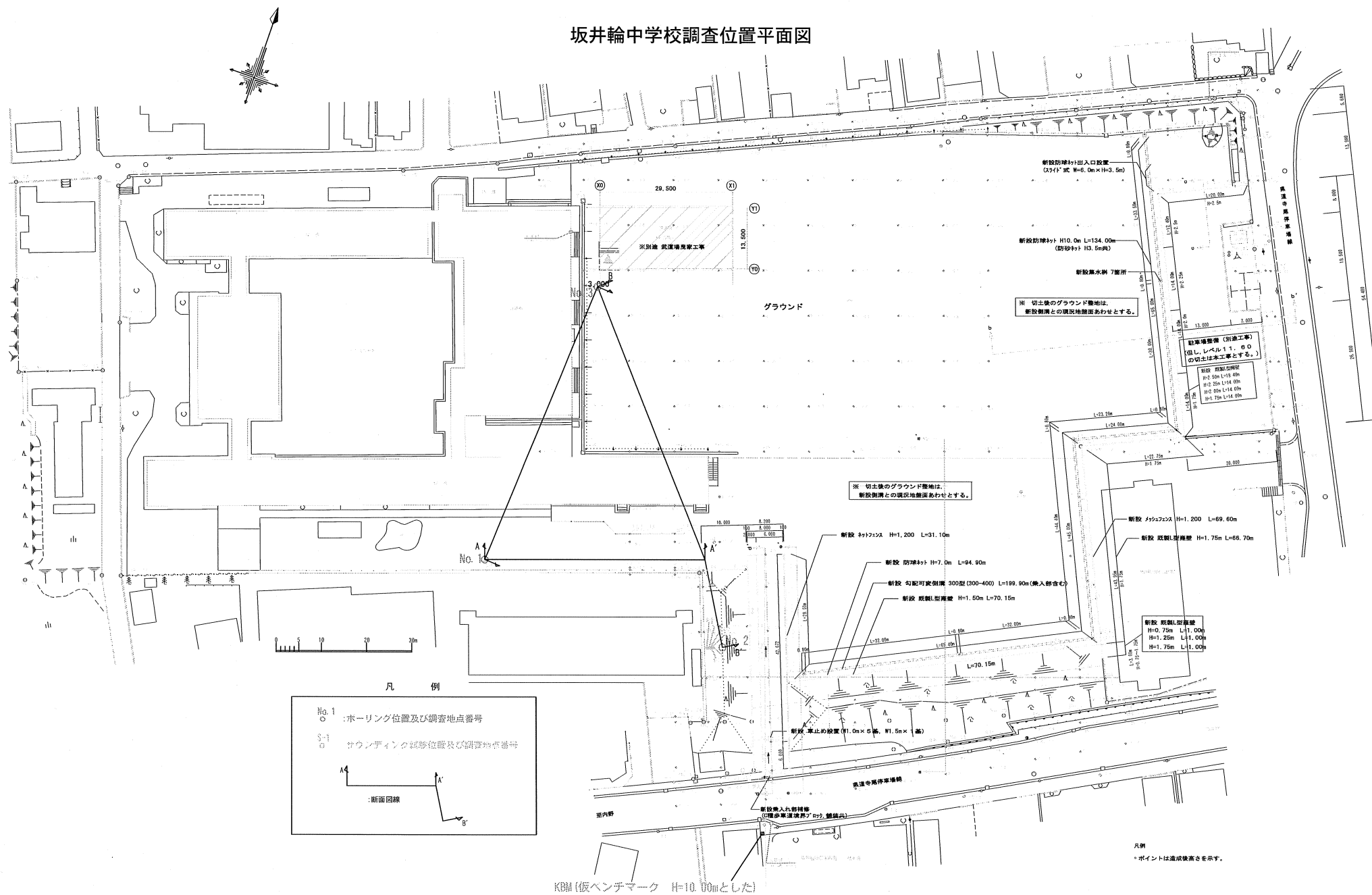


坂井輪中学校調査位置平面図



土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名
委施設第32号 坂井輪中学校 ブロック積擁壁地盤確認業務委託

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象
建築 構造物基礎

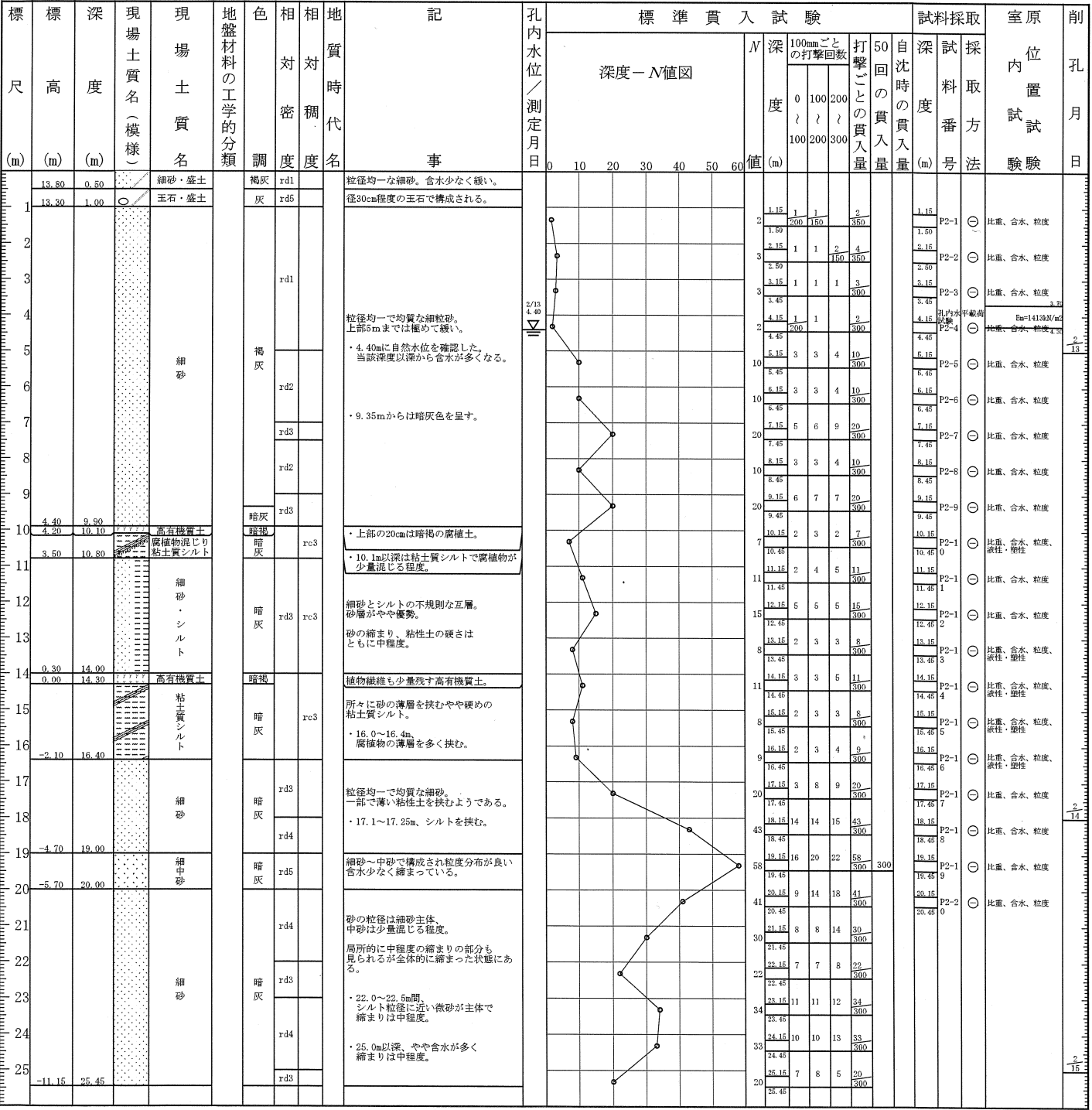
ボーリング名	No. 1	調査位置	新潟市西区寺尾上3-1-36 坂井輪中学校敷地内	北緯	37° 52′ 28.57″
発注機関	新潟市教育委員会 施設課	調査期間	2024年 2月 5日 ~ 2024年 2月 9日	東経	138° 58′ 13.25″
調査業者名	株式会社キタック 電話 025-281-1115	主任技師		現場代理人	コア 鑑定者
ボーリング責任者					
孔口標高	D.L. 13.34m	角	180° 上下 0°	方位	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
総削孔長	25.00m	度	0°	位置	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
試験機	TBM05-DA2	使用機種	鉛直 0° 90° 0°	エンジン	NFAD-8
ポンプ	V5-P				

標尺	標高	深度	現場土質名(模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	地質時代	記	孔内水位/測定月日	標準貫入試験	試料採取	室内位置試験	削孔月日
(m)	(m)	(m)								事		深度-N値図	採取番号	方法	試験
1							rd1			粒径均一で均質な細砂。細粒分も少量混じる。					
2										・3.10mに自然水位があり 当該深度以下は含水量が多くなる。					
3										・6m付近まで締まりは緩い。					
4							rd2			・9.1m以深、暗灰色を呈す。					
5															
6															
7															
8							rd3								
9															
10	3.74	9.60				暗灰				細砂を多く含有するシルト。					
11	3.14	10.20				暗灰	rc3								
12										細砂とシルトの不規則・不均質な互層 層全体としては砂がやや優勢。					
13	1.09	12.25				暗灰	rd2	rc2		植物繊維を多く残す腐植土。 圧密されているためか硬い。					
14	0.64	12.70				暗褐		rc4		中砂も少量混じる。 含水、締まりとも中程度。					
15	-1.06	14.40				暗灰	rd3			粘土化が進んだ腐植土で 植物繊維も少量残す。					
16	-1.76	15.10				暗褐		rc3		粒径均一で均質。含水、締まりとも 中程度。シルト分もわずかに含有する					
17	-2.96	16.30				暗灰	rd3			中砂主体であるが細砂も多く含有し 粗砂も混じる。全体に締まっている					
18	-4.01	17.35				暗灰	rd4								
19										細砂主体で中砂も少量含有する。 全体的には締まっているが、 上位の細中砂との境界付近と 21.4m付近は含水やや多く 締まりは中程度。					
20															
21															
22															
23															
24															
25	-11.51	24.85								含水少なくやや硬質な粘土質シルト。					
	-12.11	25.45				暗灰		rc4							

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

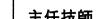
調査名	委施設第33号 坂井輪中学校 逆T型擁壁地盤確認業務委託		
事業名 または 工事名			
調査目的及び調査対象	建築 構造物基礎		

ボーリング名	No. 2	調査位置	新潟市西区寺尾上3-1-36 坂井輪中学校敷地内		北緯	37° 52' 28.90"		
発注機関	新潟市教育委員会 施設課		調査期間	2024年 2月 13日 ~ 2024年 2月 16日		東経	138° 58' 15.66"	
調査業者名	株式会社キタック 電話 025-281-1115		主任技師			現代場人	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	D.L. 14.30m	角	180° 上下 0°		方位	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南		
総削孔長	25.00m	度	0°		位置	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南		
地盤勾配	鉛直 90° 0°		使用機種	試験機 TBM05-DA2 エンジン NFAD-8		ポンプ	V5-P	



土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名	委施設第34号 坂井輪中学校 敷地地内地盤確認業務委託		
事業名 または 工事名			
調査目的及び調査対象	建築 構造物基礎		

ボーリング名		No. 3		調査位置		新潟市西区寺尾上3-1-36 坂井輪中学校敷地内					北 緯		37° 52′ 30.68″										
発 注 機 関		新潟市教育委員会 施設課					調査期間		2024年 2月 19日 ~ 2024年 2月 22日					東 経		138° 58′ 13.05″							
調 査 業 者 名		株式会社キタック 電 話 025-281-1115			主任技師		現 代 場 代 理 人		コア 鑑 定 者			ボーリング 責 任 者											
孔 口 標 高		D. L. = 13.20m		角				方 位				地盤勾配				使用機種		試錐機 TBM05-DA2					
総 削 孔 長		25.00m		度		0°		0°		鉛直		90°		0°		エンジン		NFD-10		ポン プ		V5-P	

標尺	標高	深度	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	地質時代名	記	孔内水位／測定月日	標準貫入試験					試料採取	室内位置試験	削孔月日			
												深度-N値図		N	深	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深	試料採取番号	採取方法
(m)	(m)	(m)								事		値	(m)	0	100	200	300	(m)	号	法	試験	
1	12.40	0.80	細砂・盛土		褐灰	rd2				細砂や細粒分も含有する細中砂。デニスコート表面の数センチならし土と推察され、転圧され締まっている。	2/19 2.95		3	1.15	1	1	3	1.15	P3-1	○	比重、含水、粒度	
2						rd1						8	1.45	2	3	3	8	1.50	P3-2	○	比重、含水、粒度	
3						rd2						7	2.15	1	2	4	7	2.50	P3-3	○	比重、含水、粒度	
4										粒径均一で均質な細砂。		3	2.45	1	2	4	7	3.15	P3-3	○	比重、含水、粒度	
5			細砂							・深度2.95mに自然水位があり当該深度以降は含水が多くなる。		15	3.45	4	5	6	15	3.45	P3-4	○	比重、含水、粒度	
6						rd3				・深度9.1mから暗灰色を呈す。		13	4.45	4	4	5	13	4.45	P3-5	○	比重、含水、粒度	
7												18	5.45	7	5	6	18	5.45	P3-6	○	比重、含水、粒度	
8												12	6.45	2	4	6	12	6.45	P3-7	○	比重、含水、粒度	
9						rd4						39	7.45	13	14	12	39	7.45	P3-8	○	比重、含水、粒度	
10	3.40	9.80	腐植土		暗褐	rd3				植物繊維を多く残す。硬さは中程度。		15	8.45	5	5	5	15	8.45	P3-9	○	比重、含水、粒度	
11	3.10	10.10	砂混じり粘土質シルト		暗灰	rc3				中程度の硬さの粘土質シルトで不均質に細砂が混じる。		4	9.45	1	2	2	5	10.15	P3-10	○	比重、含水、粒度、液性・塑性	
12	1.60	11.60	細砂		暗灰	rd4				細砂主体で中砂も不均質に混じる。		6	10.45	1	2	3	5	10.45	P3-11	○	比重、含水、粒度	
13	0.15	13.05	腐植物混じり粘土質シルト		暗灰	rc3				不均質に腐植物が混じる粘土質シルト硬さは中程度。		32	11.45	8	11	13	32	11.45	P3-12	○	比重、含水、粒度	
14										かなり分解の進んだ高有機質粘土。圧密されているため含水少なく硬い。		4	12.45	1	1	2	4	12.45	P3-13	○	比重、含水、粒度、液性・塑性	
15	-1.80	15.00	高有機質粘土		暗褐	rc4						5	13.45	1	2	2	5	13.45	P3-14	○	比重、含水、粒度、液性・塑性	
16						rd3						9	14.45	3	3	3	9	14.45	P3-15	○	比重、含水、粒度、液性・塑性	
17												22	15.45	5	7	10	22	15.45	P3-16	○	比重、含水、粒度	
18			細中砂			rd4				細砂および中砂主体で若干粒径が変化する。わずかながら粗砂も少量混入する部分も見られる。		40	16.45	15	14	11	40	16.45	P3-17	○	比重、含水、粒度	
19												55	17.45	15	18	22	55	17.45	P3-18	○	比重、含水、粒度	
20	-6.90	20.10	シルト質細砂		暗灰	rd4				砂の粒径は細かくシルトも多く含有する。		64	18.45	17	21	22	60	18.45	P3-19	○	比重、含水、粒度	
21												38	19.43	10	13	15	38	19.43	P3-20	○	比重、含水、粒度	
22										細砂～中砂を主体に構成され砂の粒径は不規則・不明瞭に変化する。		34	20.15	10	12	12	34	20.15	P3-21	○	比重、含水、粒度	
23										所々に粘土質シルトの薄層を挟むが圧密されているためか硬い。		46	21.15	10	12	12	34	21.15	P3-22	○	比重、含水、粒度	
24			細砂			rd3				貫入試験試料で確認された粘土質シルトの挟みは以下のとおり。 ・22.0～22.2m ・23.05～23.2m ・24.1～24.2m、24.3～24.35m ・25.4～25.45m		22	22.45	12	15	19	46	22.45	P3-23	○	比重、含水、粒度	
25	-12.25	25.45										21	23.45	4	5	12	21	23.45	P3-24	○	比重、含水、粒度	
												14	24.45	6	4	4	14	24.45	P3-25	○	比重、含水、粒度	